



令和4年度(2022年度)2月号 萩市立椿東小学校

ちんとうしょうがっこう

学校だより『椿東笑楽考』

「松陰教学」で、松陰先生に学び、志を立てる！

校長 藤中 俊臣



年末のクリスマス寒波に続き、さらに強い寒波に見舞われるなど、例年になく寒い日が続いている今年の冬。温暖化による暖冬に慣れつつある体には堪えますが、スキーやワカサギ釣りなど、冬にしか経験できないことを楽しむには絶好の機会です。新型コロナウイルス感染症とインフルエンザのダブル流行や新しい変異株などの情報が飛び交い、感染症

対策はまだまだ予断を許しません、これまでの知見で得た対策を粛々と行いながら、残された冬のシーズンを楽しんでまいりましょう。

さて、本校は松下村塾に隣接し、吉田松陰先生やその門下生、明治維新にゆかりのある史跡や文化財に恵まれています。そこで、その強みをキャリア教育*に生かし、夢や志を育む「松陰教学」に力を注いでいます。今回は、その取組の一端を紹介したいと思います。

キャリア教育* 夢や目標をもち、一人の社会人として自立できるよう、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力を育成する教育

☆本校の松陰教学の取組(一部抜粋)

「松陰先生の言葉」朗読(全校)

(内容)

日々の学校生活の拠り所となるよう、朝の会で、松陰先生の言葉を朗読・暗唱します。学年ごとに、学期にひとつ朗読し、6年間で18の朗読文にふれながら、松陰先生の教えについて学べるようにしています。



「はじめまして松陰先生」(4年)

(内容)

萩市では、全ての小学4年生に「松陰読本」が配られます。「松陰読本」を手に、校区内の史跡を訪ねたり、松陰神社の宮司さんに話を聞いたりすることをとおして、松陰先生の生い立ちと業績を学習し、プレゼンテーションにまとめます。

松陰読本



「松陰ガイドをしよう」(5年)

(内容)

松陰先生に関する調べ学習を進め、松陰神社を中心に学習した内容をパンフレットや紙芝居等にまとめ、観光客にガイドすることで情報を発信します。



「志発表会」(6年)

(内容)

卒業を前に、自分の夢や希望、憧れとする職業を思い描き、今まで学んできた松陰先生の朗読文を取り入れ、今後の生活についての自分の志を、松下村塾講義室(世界遺産)で発表します。

2月16日(木)に実施予定!



本校の特色ある教育活動の紹介～萩・お宝活用プロジェクト～

1月19日（木）に、「萩・お宝活用プロジェクト」として、5年生の子どもたちが山口県立萩美術館と萩テレビ株式会社に行きました。「萩・お宝活用プロジェクト」とは、萩市内の文化施設等を活用することによって、ふるさと萩市への誇りと親しみをもつ子どもたちを育成することをねらいとした萩市独自の教育活動です。

山口県立萩美術館では、子どもたちは興味深そうに作品を鑑賞したり、印象的な作品を選んだりしました。萩テレビ株式会社では、子どもたちは光ファイバー通信のしくみや番組編成の仕方、正確な時刻に放送するための工夫などについて学びました。

今回の「萩・お宝活用プロジェクト」の学習では、子どもたちは、美術作品や番組制作など「本物」に触れる活動をとおして、教室では学ぶことのできない「本物」のよさや価値、実際に携わっておられる人たちの工夫や努力に目を向けることができました。

山口県立萩美術館



萩テレビ株式会社



先週は十年に一度と言われる寒波が日本列島にやってきました。萩市においても今年初めての積雪があり、運動場も真っ白になりました。この寒さで大人は体が縮こまってしまいがちですが、そこはさすが椿東っ子たちです。

昼休みなどには、外に出て雪合戦をしたり、雪だるまを作ったりして久しぶりの雪の感触を楽しんでいました。

